

平成24年行政事業レビューシート

(文部科学省)

<b>事業名</b>	先端融合領域イノベーション創出拠点形成プログラム		<b>担当部局庁</b>	科学技術・学術政策局			<b>作成責任者</b>
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成23年度		<b>担当課室</b>	産業連携・地域支援課			産業連携・地域支援課長 里見 朋香
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	施策目標：7-2 イノベーション創出に向けた産業連携の推進及び地域科学技術の振興			
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	-		<b>関係する計画、通知等</b>	○科学技術戦略推進費に関する基本方針(平成23年5月13日総合科学技術会議)			
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	長期的な観点からイノベーションの創出のために特に重要と考えられる先端的な融合領域において、産学の協働により、次世代を担う研究者・技術者の育成を図りつつ、将来的な実用化を見据えた基礎的段階からの研究開発を行う拠点を形成する。						
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	本プログラムは、イノベーションの創出のために特に重要と考えられる先端的な融合領域において、企業(協働機関)とのマッチングにより、新産業の創出等の大きな社会・経済的インパクトのある成果(イノベーション)を創出する研究開発を行う拠点を形成を支援するものである。実施期間は原則10年であるが、当初の3年間は拠点の本格化に向けた絞り込みのための期間として位置づけられており、3年目(2年半後及び3年半後)に再審査を行い、1/3程度に絞り込みを行うこととなっている。(定額補助。協働企業から間接経費を除く経費の総額と同等以上のコミットメント求めている)						
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算の状況	当初予算			7,458		
		補正予算			-		
		繰越し等			-		
		計			7,458		
	執行額			7,353			
	執行率(%)			98.6%			
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)
	中間評価及び事後評価において、a以上の評価を受けた地域の割合(評価はs、a、b、cの4段階) ※中間評価は平成24年度、事後評価は平成28年度以降に外部評価委員等によって実施予定 ※評価項目については検討中	成果実績		-	-	-	半数以上
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)
	中間評価及び事後評価において、s評価を受けた地域の有無(評価はs、a、b、cの4段階) ※中間評価は平成24年度、事後評価は平成28年度以降に外部評価委員等によって実施予定 ※評価項目については検討中	成果実績		-	-	-	有
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)
	協働企業からのコミットメント額	活動実績 (当初見込み)	百万円	6,753	7,090	7,356	7,000
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	先端融合領域イノベーション創出拠点形成プログラム実施拠点数	活動実績 (当初見込み)	拠点	21	16	12	-
<b>単位当たりコスト</b>	1拠点当たりのコスト 603百万円/拠点数		算出根拠	単位当たりコスト=平成23年度補助金額7,238百万円/平成23年度先端融合領域イノベーション創出拠点形成プログラム実施拠点数12地域			

平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由
				平成23年度限りの経費
計				

**事業所管部局による点検**

	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	先端的な融合領域において、産学の協働により、新産業の創出等の大きな社会・経済的インパクトのある成果（イノベーション）を創出する拠点の形成を支援することを目的としており、優先度は高い。第3期科学技術基本計画にあるとおり、国が世界を先導しうる先端的な融合領域の研究拠点を形成を目指すものであり、国が実施する必要がある。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	補助事業者に対しては、補助金の交付申請時に目的に即して使用すること、協働企業から間接経費を除く経費の総額と同等以上のコミットメントを行うことを条件に補助を行っている。補助機関に対しては、事業目的に即して真に必要なものに使われているか調査を行っている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	先端的な融合領域において、産学の協働により、次世代を担う研究者・技術者の育成を図りつつ、将来的な実用化を見据えた基礎的段階からの研究開発を行う拠点を形成する事業は本事業のみであり、成果を着実に創出している。また、各拠点の事業については、採択時に成果目標等を含めた提案書等を審査委員会にて評価し、採択している。また、3年目には課題を1/3程度に絞り込む再審査、7年目には中間評価、及び事業終了後は事後評価を行うこととしている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	※類似事業名とその所管部局・府省名	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	

**点検結果**  
平成21年度の事業仕分け第3弾の指摘事項を踏まえ、制度全体を大きく見直し、①18制度を5本に大きくり化すること、②科学技術振興調整費を廃止すること、③システム改革を目的とする事業を非競争的資金化するといった整理を行った。

**予算監視・効率化チームの所見**

平成23年度限りの経費である。

**上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)**

-

**補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)**

○事業仕分け第3弾(平成21年11月18日)  
事業番号3-20 競争的資金(先端研究)【予算】【制度】①科学技術振興調整費(革新的技術推進費、先端融合領域イノベーション創出拠点の形成)②科学研究費補助金(特別推進研究、特定領域研究、新学術領域研究、基盤研究(S))③戦略的創造研究推進事業④戦略的イノベーション創出推進事業⑤先端的低炭素化技術開発⑥戦略的基礎科学研究強化プログラム  
WGの評価結果:一元化も含めシンプル化、予算は整理して縮減  
【制度】(資金の一元化8名、重複の排除・制度のシンプル化4名、その他1名)  
【予算】(予算計上見送り3名、予算要求の縮減5名(a 半額1名、b 1/3縮減1名、その他3名))、予算要求通り5人  
とりまとめコメント  
競争的資金(先端研究)の予算については、来年度の予算計上の見送りが3名、予算要求の縮減が5名、予算要求通りが5名であった。ただし、予算要求通りとしたメンバーも、若手研究者への資金配分にも力を入れてほしい、コスト削減が必要とのコメントを付しており、全体としては予算要求の縮減の声が大きいと思われる。このため、競争的資金については整理して縮減することが求められているという形でまとめた。また、競争的資金(先端研究)の制度については、資金の一元化の推進が8名、重複の排除・制度のシンプル化が4名であった。このため、一元化を含め、制度をシンプル化し、使い勝手の良いものにしていただきたい。

**関連する過去のレビューシートの事業番号**

平成22年行政事業レビュー	22-0224	平成23年行政事業レビュー	23-0209
---------------	---------	---------------	---------

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

文部科学省  
7,353百万円

職員旅費 2百万円 を含む

○ 先端的な融合領域において、産学官の協働により、将来的な実用化を見据えた基礎的段階からの研究開発を行う拠点を形成する

【公募・補助】

A 大学等研究機関(全12機関)  
7,238百万円

○ 企業(協働機関)とのマッチングにより、新産業の創出等の大きな社会・経済的インパクトのある成果(イノベーション)を創出する研究開発を行う拠点の形成を支援

【随意契約・委託】

B (財)科学技術振興機構  
113百万円

○ 先端融合領域イノベーションプログラム創出拠点形成プログラム執行に係る課題管理等執行支援

(京都大学次世代免疫制御を目指す創薬医学融合拠点のケース)

文部科学省



【公募・補助】

A 京都大学  
690百万円

○ 創薬プログラムにより、アレルギー、自己免疫病、感染症、がんなどの重要な疾患を克服する次世代の免疫制御型新薬を開発し、国民の健康と医療福祉に貢献することを目指す

A 京都大学			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	業務担当職員、補助者	367			
設備備品費	分析機器等	143			
消耗品費	研究に係る消耗品等	121			
雑役務費	動物飼育管理費	33			
運営費	施設利用費等	16			
旅費	国内旅費	8			
その他	会議開催費、諸謝金	2			
計		690	計		0
B (財)科学技術振興機構			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	業務担当職員、補助者	71			
雑役務費	機器保守料金等	12			
一般管理費	直接経費の約9%	10			
借損料	機器賃借料等	9			
旅費	国内旅費	5			
その他	消費税相当額、印刷製本費、消耗品費、会議開催費 等	6			
計		113	計		0
C			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	京都大学	次世代免疫制御を目指す創薬医学融合拠点	690	企画競争	—
2	北海道大学	未来創薬・医療イノベーション拠点形成	690	企画競争	—
3	東京大学	ナノ量子情報エレクトロニクス連携研究拠点	690	企画競争	—
4	京都大学	高次生体イメージング先端テクノハブ	690	企画競争	—
5	東京女子医科大学	再生医療本格化のための最先端技術融合拠点	690	企画競争	—
6	産業技術総合研究所	光ネットワーク超低エネルギー化技術拠点	683	企画競争	—
7	東京大学	システム疾患生命科学による先端医療技術開発	647	企画競争	—
8	大阪大学	フォトニクス先端融合研究拠点	641	企画競争	—
9	横浜市立大学	翻訳後修飾プロテオミクス医療研究拠点の形成	641	企画競争	—
10	東北大学	マイクロシステム融合研究開発拠点	592	企画競争	—

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)科学技術振興機構	先端融合領域イノベーションプログラム創出拠点形成プログラム執行に係る課題管理等執行支援	113	随意契約	—